

令和7年度重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

高岡市立五位中学校

具体的な達成目標

重点目標 「自分に誇りをもち、主体的に活動するたくましい生徒の育成」

－自ら考え判断し、行動できる力を育てる指導の充実－

○生徒の自尊感情や自己有用感を高める。

- ・自分にはよいところがあると思う。 80%
- ・学校の授業に満足している。 80%
- ・学校生活において、自分は役に立っていると思う。 80%

○自ら考えて判断し、主体的に活動する。

- ・授業や行事等で意見を伝え合い、自分の考えを深めている。 80%
- ・学級活動、学校行事、生徒会活動には意欲的に取り組んでいる。 80%

前年度

前年度は、自尊感情を高める取組や自分の考えをもち、主体的に活動する授業の工夫等により、概ね目標を達成できた。また、学校行事の在り方を工夫したり、学習専用端末を活用したりすることで教育活動を充実させることができた。今年度は、さらに重点目標の焦点化を図ることで、生徒の自尊感情を高め、自己有用感の向上を目指したい。また、課題意識をもって取り組んだり、自己決定や自己調整したりする指導過程を工夫することで、自分に誇りをもって主体的に活動しようとする生徒の育成を図りたい。

行動Ⅰ

自己有用感を高める取組Ⅰ

- 1 自己存在感や共感的な人間関係を味わえる場面を設定するとともに、集団の一員として自分の役割を果たし、活躍できる場を設定する。
- 2 各教科や学校行事、生徒会活動等において、賞賛や感謝等、自他のよさを認め合える肯定的な言葉がけを行う。
- 3 基礎・基本の定着を図るとともに、達成感や成就感が味わえる分かりやすい授業を推進する。

自ら考えて判断し、主体的に活動する取組Ⅰ

- 1 課題意識を高める指導、学んだことを振り返る場面を工夫することで、主体的に学ぶ意欲を育てる。
- 2 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるために、ICT機器の活用を工夫するなど、生徒が自己調整しながら主体的に学習を進める指導過程を工夫する。
- 3 学級活動や学校行事、生徒会活動等において、生徒が目的を理解し、自発的・自治的に活動できるような指導を行う。

中間評価

- 目標：生徒の自己有用感を高める取組の実施
- ・方法：各取組での生徒による自己評価と教師の評価等
- 目標：自ら考えて判断し、主体的に活動する取組の実施
- ・方法：教師の自己評価、公開授業や互見授業による相互評価、生徒の評価等
- *評価の結果は、学校評議員会やPTA役員会、学校ホームページ等で公開する。

行動Ⅱ

自己有用感を高める取組Ⅱ

- 1～3は継続
- 4 小中連携の活動の充実、PTAや地域と連携した活動（奉仕活動等）の推進

自ら考えて判断し、主体的に活動する取組Ⅱ

- 1～3は継続
- 4 中間評価の課題解決のための校内研修の充実

年度末評価

- 目標：生徒の自己有用感を高める取組の実施
- ・方法：各取組での生徒による自己評価と教師の評価等
- 目標：自ら考えて判断し、主体的に活動する取組の実施
- ・方法：教師の自己評価、公開授業や互見授業による相互評価、生徒の評価等
- *評価の結果は、学校評議員会やPTA役員会、学校ホームページ等で公開する。

次年度

中間評価や年度末評価、学校評議員の意見を参考に、本年度の成果や課題を明確にする。次年度に向けて、行動目標や学校評価項目等の改善に生かす。